



えごた

<http://nk-egota-e.a.la9.jp>

令和2年
5月号
江古田小学校
児童数 429名
TEL03-3385-0411

学校の教育目標◎かंगाえる子ども○やさしい子ども○たくましい子ども(◎重点目標)
目指す学校の姿「元気いっぱい、笑顔で挑戦、子ども一人ひとりがよさを発揮できる学校」



安全・健康第一！

校長 松井 貴子

【安心は心のもち方、安全は知識に基づく判断と冷静な行動】

疫病退散の言い伝えがある「アマビエ」という妖怪が流行、厚生労働省公認のキャラクターにもなったと聞き調べてみました。江戸時代末期、肥後国（現在の熊本県）に出現した妖怪で、当時の瓦版（京都大学図書館に保管）によると「疫病が流行したら自分の写し絵を早々に人々に見せよ」と伝えて海に帰っていったそうです。御利益があるということでお菓子や御朱印にもなっており、「安心」のために考え活用している人々の工夫に感心しました。

リスクをなくせたといい気持ちが「安心」です。緊急事態宣言を受け、自粛も続き不安定な気持ちになりやすいときに「安心」な気持ちになるために工夫するのはよいことだと思います。しかし、目の前のリスクが見えず、「知らなかった、見えないので怖くない」とか「知らないことの幸せ」と、考えることに蓋をしても安心な気持ちになるわけですから、「安心」には注意が必要です。

安全と安心といいますが、どう違うのでしょうか。安全とは、エビデンスに基づいてリスクを可視化した状態のことです。リスクゼロは、実現不可能であり、人類の歴史から考えてもリスクと付き合っ、ウイルスと共存してきました。私たちは、それを科学と統計から考え、リスクがどこにどれだけ存在するのを見える化し「安全」を捉えます。多くの情報が発信されていますが、背景を含め考えることが大切です。

今、新型コロナウイルス感染防止に対して、医療従事者や感染者等への偏見や差別が問題となっているとの報道がありました。1月28日東京都人権尊重教育研究発表会の保健授業で、本校の6年生児童は「ハンセン病の歴史を知り、当時の患者やその家族はどんなに苦しかったらと考えると、すごく悲しい気持ちになった。今新型コロナウイルスがはやり始めているが、何が正しいのか、何事もしっかり考えて行動しようと思う。」と述べたことを思い出します。また、日本赤十字社は「人と人が傷つけあう状況はウイルスより恐ろしい」とし動画配信をしています。

よりよい未来を創るにはリスクを知り根拠をもとに、問題解決していくことが大切です。社会的な課題となっている新型コロナウイルス感染ニュースでは何をもとに発言しているのか、科学的・統計的根拠はどんなことか等の情報を比較して、子どもたちと「安全対策」について人権の視点も交えて考える機会として欲しいと思います。

引き続き、皆様の健康、そして、5月の連休が豊かな時間となるように心よりお祈りいたします。

御家庭との連絡は、原則学校情報配信メール、ホームページ、学校正門掲示板で行います。次の予定は、8日までにお伝えします。御協力をよろしくお願い致します。

